



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 2月号 (No. 19)

令和4年2月4日発行

子どもたちの声が戻る!

1月24日（月）～26日（水）の3日間、新型コロナウイルス感染症の拡大防止ために臨時休校の措置をとり、保護者の皆さんには大変ご心配をお掛けしました。また、急に子どもたちが家庭で過ごすことになり、その対応をしていただきましたことに感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の罹患者、濃厚接触者については、保健所から10日間程度の外出自粛期間が設定されます。（現在は、期間が短縮される。）PCR検査が陰性で、元気であれば学校に行かせたいと考えられたでしょうが、こればかりは致し方ないと受け止められたことだと思います。



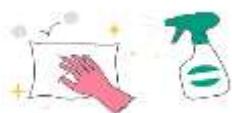
学校は臨時休校明けの27日（木）から再開しました。しかし、1月31日（月）までは多くの子どもたちが登校できず、学校は寂しい状況でした。2月1日（火）は、ほとんどの子どもたちが元気に登校し、いつもの活気ある学校になりました。やっぱり学校は子どもたちが居てこそそのものです。

小学部作品『とら』 さて、2月中の学校ですが、感染力が強い新型コロナウイルス（オミクロン株）感染症への罹患、再度の臨時休校を避けるために、日常の学校生活や教育活動等を点検し、その対応を2月1日（火）の配付文書でお知らせしました。その対策をとっても感染や再度の休校措置の心配はあるのですが、子どもたちの安全を第一に考えての取組です。ご理解とご協力を願いいたします。

<消毒作業>

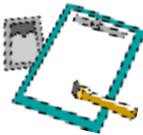
学校が休校となっていたときに、教職員で校内の消毒作業を実施しました。教育委員会の指導を受け、感染防止のフェイス・シールドや防護服等の身支度をして、丁寧にアルコール消毒を行いました。

子どもたちがウイルス感染しないように、手で触れる取っ手や手すり、机やロッカー、教材や下駄箱などは消毒液で湿らせたペーパータオルで拭き上げました。教室や体育館、廊下などの広い床などは消毒液を噴霧して雑巾で拭き取りました。

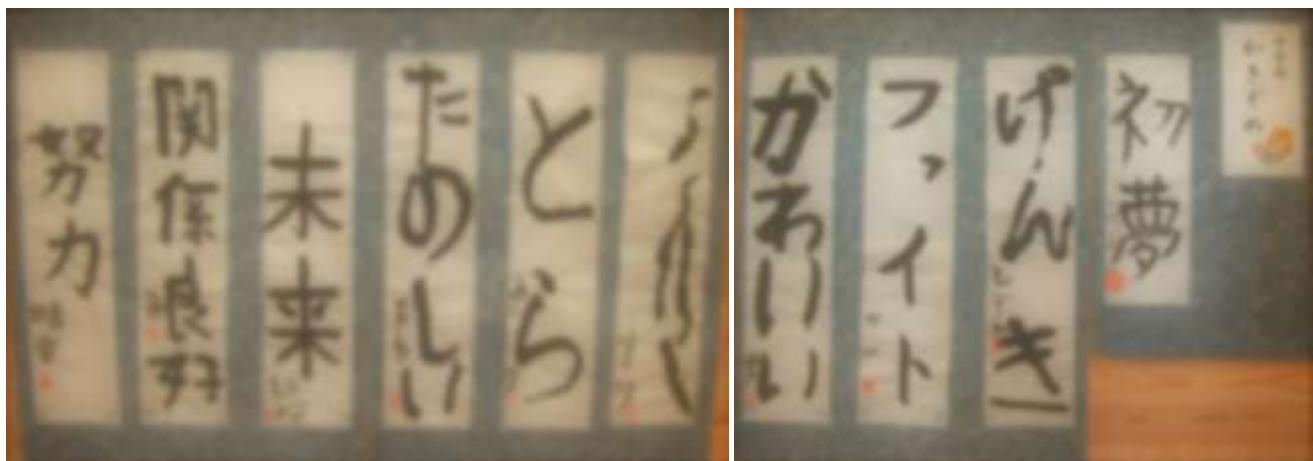




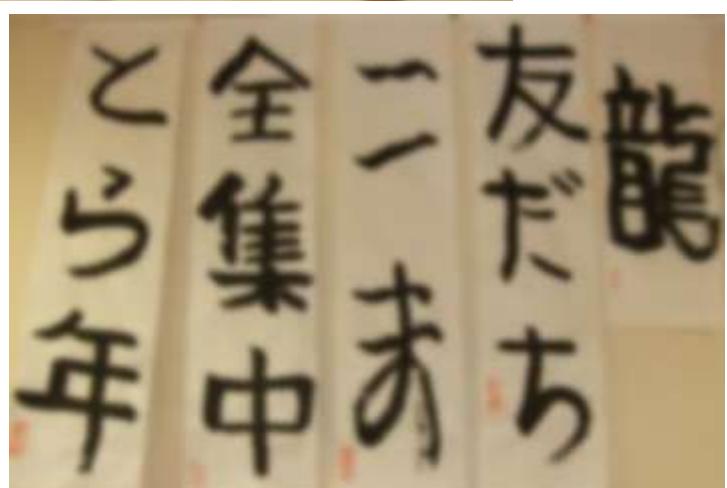
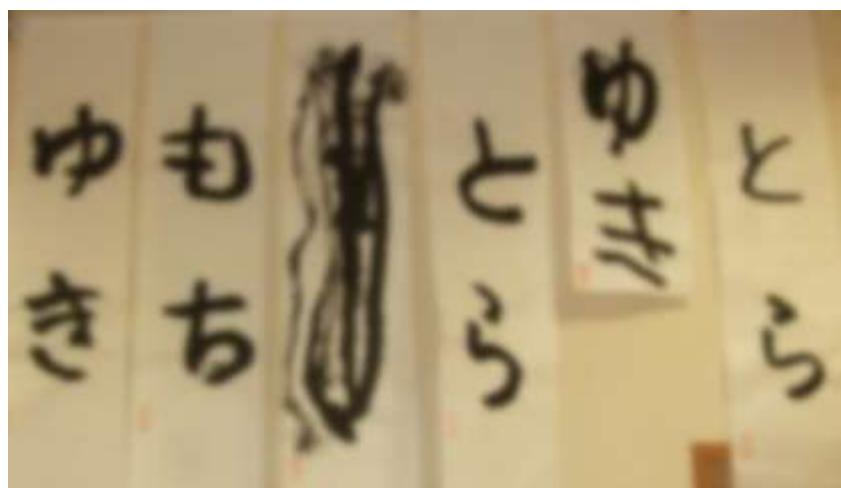
令和4年 書き初め展



「書き初め」作品を紹介します。1月中に小学部・中学部でそれぞれ「書き初め」に取り組みました。新型コロナウイルス感染症による臨時休校前に作品を仕上げることができて良かったと思います。小学部は一階多目的室、中学部は階段の掲示スペースに展示してあります。



【中学部作品】



【小学部作品】

個性溢れる26名の作品です。中学部の生徒は、自らの目標や新年にちなんだ言葉を力強く書に表しました。また、小学部の児童も、新年にちなんだ言葉や関心のある事柄などを、のびのびと思い思いに表現しました。

書いている子どもたちの姿を想像しながらご覧ください。